

採血方法説明書



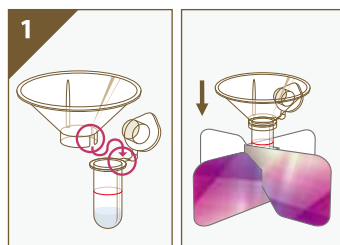
採血方法説明書の両面をよくお読みになってから採血してください。

誤った方法で血液を採取した場合、正確な検査結果が得られないことがあります。

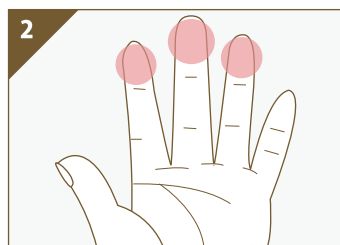
採血量につきましては、裏面の採血の適正量を参照してください。

採血にあたっての注意事項 ～上手に採血するために～

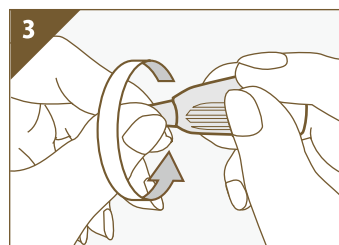
- ① 採血を行う際は、手を洗ってください。
- ② お風呂に入る、お湯に手を入れるなどして指先をよく温めてください。
- ③ 採血する場所をよくマッサージしてください。
- ④ 針を刺した後、手を心臓より下にして肘から指先まで絞るように血液を出してください。
- ⑤ 緊張により血管が収縮してしまうと血液が出にくくなりますのでリラックスした状態で行ってください。
- ⑥ 指の脇(両側)から血液が採れなかった場合は、指の腹の方が血液が出やすい場合もありますので指の腹から採血してください。



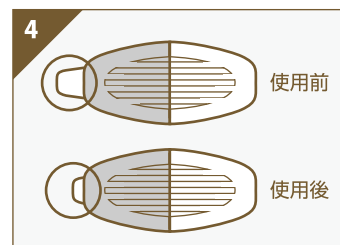
二枚の紙を合わせ、採血管立てを作ります。採血管のキャップを外して、ロートを組み合わせてください。合わせた採血管を採血管立てに固定します。



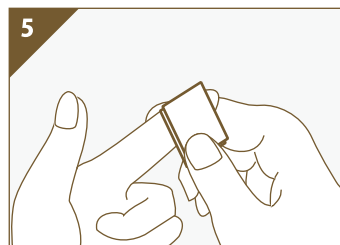
採血する場所は指先の両側が痛みを感じにくいいため推奨されています。両側が出にくい場合は、指の腹部分で再度採血を行ってください。



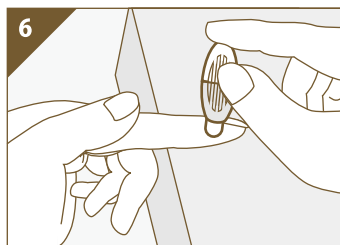
ランセットのキャップをまわしながら取り外して、採血の準備をしてください。



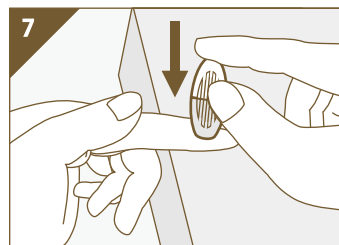
一度使用したランセットは、再使用できません。指先に押し当てる前にランセットの先端を触らないようにご注意ください。



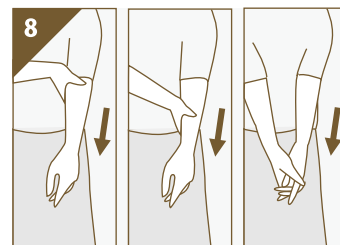
消毒綿で採血する場所をしっかりと拭き、よく乾かしてください。



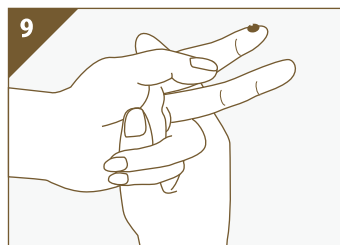
針を刺す指を机に置くなどして固定し、ランセットを採血部位に軽くあてがいます。



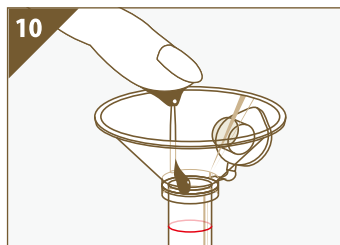
ランセット本体ごと指に押し当てたまま上から力を入れると、一瞬針が指先にあたり、刺入してすぐに本体の中に戻ります。



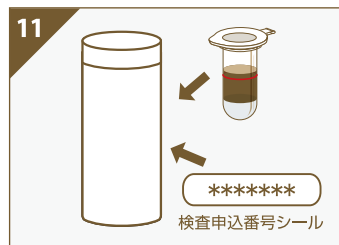
針を刺した後、肘から指先に向かって血液を絞り出すようにします。



ランセットの針を刺しても血液が出にくい場合は、手のひらから指先に向かって絞り出してください。



ロートにある尖っている先端に指先当て、流すように血液を採血管に落とします。出血量が少量の場合、指の先端をロートの尖っている先端に当てたまま、そのままの体勢で肘から指先に向かって血液を絞り出してください。



採血管のキャップを閉め、専用の梱包容器に採血管を入れ、蓋をしっかりとしめます。梱包容器には忘れずに検査申込番号シールをお貼りください。採血後は血液を消毒綿やティッシュ等で拭き取り、出血部位を数秒間強めに押さえて止血をしてから絆創膏をご使用ください。

(検査申込番号シールは、別紙の「取扱説明書」に付属されています。)



採血管は血液専用返送袋に、使用した検査キットは医療廃棄物専用袋に、それぞれ入れてください。返信用封筒に血液専用返送袋、使用した検査キット、検査申込書、を入れていただきご返送ください。使用したキットは当社で医療廃棄物として処分いたします。

血液採取を行う前に、必ずお読みください

ご注意

- [1] 検査に必要な血液量が採取できていない場合、検査を実施できません。
- [2] 出血性疾患の方やワーファリン服用中の方、また、採血時において血圧や心拍数の低下のご経験のある方は使用しないでください。
- [3] 採血部(針を刺した部位)が化膿した場合は、医師にご相談ください。
- [4] お子様の手の届かない場所に保管してください。
- [5] 採血後はできる限りお早めに返送してください。また使用済および未使用のランセットは、ご返送いただければ当社で医療廃棄物として処分いたします。



出来るだけお申込項目に必要な血液量を採取していただきますようご協力ください

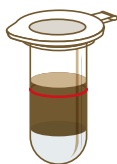
下記、採血の適正量を目安に採取をお願い致します。

検査に必要な血液量が得られない場合には、お申込みいただいた検査を実施出来ない場合があります。

採血の適正量



【理想的な例】



【検査が行えない場合がある例】



量が少ない

検査ができるか不安な方は忘れずにご連絡先をご記入ください

ご自身の検査項目に必要な量の血液が採れなかった場合や、初めての血液採取で採り方を間違えてしまったという場合など、正しく血液採取ができていないか心配な方には下記のサポート体制がありますのでご安心ください。

- ① 検査ができるか不安な場合には、電話やメールにてご連絡いただくか、検査申込書の備考欄に内容をご記入ください。その際必ずご連絡先(お電話番号またはメールアドレス)もご一緒にご記入ください。
- ② 検体が届いてから検査に支障がないか判断し、問題がなければそのまま検査を進めさせていただきます。しかし、お申込みいただいた血液検査のうち、検査を実施出来ない項目があると判断させていただいた場合には当社からご連絡差し上げます。
- ③ 対応方法をお客様とご相談させていただき以下の方法で対応させていただきます。
 - 選択肢1・・・採血キットを再送し、再度血液を採取して実施できない項目の検査を実施する。スタンダードパッケージの場合は、無料で採血キットを送付します。ローコストパッケージの場合は、別途採血キット発送代金をご請求させていただきます。
 - 選択肢2・・・採血キットの再送を希望せず、採取した血液でお客様の希望に沿いながら検査できる項目のみ検査を実施する。この場合、検査を実施できなかった項目につきましては「検査できず」とご報告させていただきます。

注) ご連絡が付かない場合には一定期間お待ちしてから当社の判断で検査を実施させていただきます。状況によっては「検査できず」と結果をご報告させていただく場合もございますので、予めご了承ください。